

今月の1枚 (2014年8月)

雪溪の残る夏山のロッククライミング

写真提供・文とも宮崎隆介 (JRMN 会員)



トップに確保されながら初級ルートの岩稜の割れ目を登るセカンド。両手両足を使い、三点支持（両手両足のどれか一つだけを岩から離して次の支持点を求める）で尺取虫のように登っていく。自分の技量に合ったルートを選び、稜線歩きと違った楽しみを求める。油断すると当然危険度は増すが、トレーニングを積んで安全確保を含めた登攀技術を磨き、自分にとっての難しいルートを登り切った時の達成感が何にも代えがたい。